

令和 8 年度定時評議員会議事録

日 時 令和 8 年 6 月 24 日(水) 14:00～15:00

場 所 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE14 階「岸清一メモリアルルーム」

※Web 会議を併用

会場出席者 土橋登志久(テニス)、上治丈太郎(ウエイトリフティング)、佐藤健司(ソフトテニス)、馬場美香(卓球)、蒔田実(剣道)、山口徹正(カヌー)、村田利衛(空手道)、建部彰弘(アイスホッケー)、中村ゆりこ(なぎなた)、井上弘(少林寺拳法)、池谷正成(ゴルフ)、大澤明美(カーリング)、茂野直久(日本拳法)、生島典明(北海道)、大沢陽子(青森)、奥山雅信(山形)、田子昌之(群馬)、山崎成夫(千葉)、塩見清仁(東京)、田名部高雄(神奈川)、中村宏平(長野)、猪飼敏之(滋賀)、横尾英治(和歌山)、堂本ひさ美(広島)、渡邊浩三(香川)、田中稔(徳島)、城戸英敏(福岡)、平良朝治(沖縄)、藤原正樹(パラスポーツ)、川上隆弘(スポーツ芸術)、宇津木妙子(伏見妙子)(トップリーグ)、寺澤正孝(学経)の各評議員

(理 事) 田中不二夫副会長、森岡裕策専務理事、山本浩、勝田隆、岩田史昭の各常務理事、植田実、久保正美、櫻井由香、中嶋実、村松さやか、吉岡成子の各理事

(監 事) 久保直生、藤田裕司、藤原誠の各監事

Web 出席者 室城信之(陸上)、金子日出澄(水泳)、森晃(スキー)、井崎洋志(ボクシング)、鬼頭有紀子(バレーボール)、吉田長寿(バスケットボール)、齋木尚子(スケート)、多賀恒雄(レスリング)、安藤淳(セーリング)、宮永美寿津(馬術)、中里壮也(柔道)、岡本友章(ソフトボール)、大野淳(バドミントン)、田中伸周(アーチェリー)、市野保己(銃剣道)、齋藤良太郎(ボウリング)、谷田部和彦(野球)、木村博美(綱引)、今川啓一(ゲートボール)、小野賢二(オリエンテーリング)、園山和夫(グラウンド・ゴルフ)、中山俊行(トライアスロン)、田中徹(バウンドテニス)、知念かおる(エアロビック)、出口弘之(バイアスロン)、田邊哲人(チャンバラ)、前川恵(チアリーディング)、谷藤節雄(岩手)、酒井祐一(福島)、新井彰(埼玉)、森山喜博(石川)、南部則雄(福井)、増田和伯(岐阜)、山本誠三(京都)、松本恭幸(大阪)、小西慎太郎(鳥取)、近藤一幸(島根)、河村祐一(山口)、馬越祐希(愛媛)、宮成康蔵(大分)、岩元幸成(鹿児島)、佐藤廣子(女子体育)の各評議員

(理 事) 三宮恵利子副会長、飯塚悟、池田めぐみ、石井砂織、浦美奈子、笠師久美子、鹿島文博、室伏由香、湯川和之の各理事

Web 会議システムにより、出席者の音声と映像が即時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会するのと同様に適時的確な意見表明が互いにできる状態となっていることを確認した。

評議員総数 112 名、うち出席 74 名(会場 32 名、Web 会議 42 名)で定款第 23 条により評議員

会成立。

議 案

第 1 号 議長の選出について

(森岡専務理事)

定款第 20 条第 3 項及び評議員会規程第 3 条に基づき、日本ウエイトリフティング協会の上治丈太郎評議員を令和 8 年度開催の評議員会の議長に選任することについて諮り、出席評議員全員一致で可決された。

以降、上治評議員を議長として議事を進めた。

第 2 号 議事録署名人の選出について

(上治議長)

定款第 24 条第 2 項に基づき上治議長の他に、千葉県スポーツ協会の山崎成夫評議員及び森岡裕策専務理事に議事録署名人を依頼することについて諮り、出席評議員全員一致で可決された。

第 3 号 令和 7 年度事業報告及び決算について

(事業報告：森岡専務理事 決算：岩田常務理事)

はじめに令和 7 年度事業報告について、次の通り説明した。

当協会が、5 年間の活動方針として策定した「JSPO 中期計画2023－2027」に基づき、加盟団体をはじめ、関係機関等と連携・協働を図り、各種活動を推進した。

＜公1＞「国民スポーツ推進事業」のうち、「スポーツイベント開催・競技力向上」では、国民スポーツ大会及び日本スポーツマスターズの開催を中心に、「JAPAN GAMES」として、“する・みる・ささえる”といったスポーツのオモシロさに触れる機会を拡充し、スポーツの価値を最大化するとともに、各大会の認知・魅力発信を図った。

「国際スポーツ交流推進」では、韓国・中国を中心とした国々との相互交流を通じ、相互理解を深め、平和と友好を促進した。また、ASEAN 諸国におけるスポーツ推進貢献では、タイとマレーシアの関係団体への派遣を通じて、アクティブ・チャイルド・プログラム(JSPO-ACP)を活用した連携を進めた。

「スポーツ少年団育成」では、スポーツ少年団の理念を体現した地域に貢献する指導者・リーダーの育成、「JAPAN GAMES JUNIOR&YOUTH」をはじめとした各種交流大会や国際交流を実施した。また、スポーツ少年団組織の充実強化と加入促進に取り組むとともに、スポーツ少年団と総合型地域スポーツクラブの連携体制の構築に取り組んだ。

「地域スポーツクラブ育成・支援」では、国や都道府県と連携し、登録・認証制度の適切な運用を通じた総合型クラブの質的充実を図った。また、全国 9 ブロックのネットワーク強化と横断的連携の促進に取り組むとともに、総合型クラブとスポーツ少年団の連携体制の構築に取り組んだ。

「スポーツ指導者育成・活用促進」では、適切な知識・技能を備え、使命と責務を担うスポーツ指導者の養成を進めるとともに、スポーツ指導者の活用や活動促進を図るため、各種講習会や研修会を実施した。

「スポーツ医・科学推進」では、スポーツ推進を支える多様な医・科学研究プロジェクトを実施し、JSPO-ACP の普及啓発やスポーツ活動中の熱中症事故予防をはじめ、国民スポーツ大会におけるドーピング検査やアンチ・ドーピング教育・啓発によるクリーンなスポーツ環境の確保に取り組んだ。

「広報活動推進」では、情報誌「Sport Japan」の発行やホームページの運営を通じ、JSPO の価値及びブランド力の向上を図ったほか、スポーツ指導者をはじめ、スポーツ関係者・愛好者へのタイムリーな情報発信に取り組んだ。

「社会貢献活動推進」では、秩父宮記念スポーツ医・科学顕彰、日本スポーツグランプリ顕彰などの各種顕彰事業を実施するとともに、スポーツにおけるインテグリティ(スポーツ・インテグリティ)を確保する観点のもと、暴力行為等根絶に向けた各種取組、スポーツボランティアの活動支援により、スポーツが持つ社会的価値の拡大に取り組んだ。

「組織体制充実・強化」では、自己財源確保のための寄付金の募金活動やスポーツ会館管理運営に取り組んだ。

「＜収 1＞マーケティング事業」では、JSPO ブランド力を強化する取組や「JSPO スポーツ・アクティブ・パートナー・プログラム」を推進し、協賛企業との連携強化や新規協賛社の獲得に努めた。

「＜収 2＞出版物等販売事業」では、総合情報誌「Sport Japan」及び各種教本等を販売し、当協会の財源確保に努めた。

「＜他 1＞加盟団体組織体制促進事業」では、スポーツ・インテグリティの確保を図る観点から、スポーツ団体ガバナンスコードに関する取組を通じて、加盟団体のガバナンスの向上に取り組んだ。

「組織運営及び財政の確立」では、当協会の各委員会等を中心に企画・立案し、加盟団体をはじめとした関係団体・機関等の協力を得て、各事業の推進に取り組んだ。また、より一層のガバナンスとコンプライアンスの強化により、組織運営の健全性の維持・確保に努めた。

これらの事業の推進には、安定した財政基盤の確立が必要なため、関係機関・団体のご理解とご協力をいただき、財源の確保に積極的に取り組んだ。また、「JSPO 人材育成計画 2023-2027」に基づく人材育成、「JSPO 財務計画 2023-2027」に基づく財政基盤の確立を通じて、中期計画の実現を下支えした。

次に、令和 7 年度決算について、財務諸表に基づき次のとおり説明した。

「貸借対照表」では、「資産合計」は、前年度比 3 億 8,767 万 3,918 円減の 137 億 2,471 万 3,783 円となった。

「負債合計」は、前年度比 3,499 万 299 円減の 18 億 5,823 万 8,907 円となった。

「正味財産合計」は、前年度比 3 億 5,238 万 3,619 円減の 118 億 6,647 万 4,876 円となった。

「正味財産増減計算書」では、「一般正味財産増減の部」における「経常増減の部」の「経常収益」は、前年度比 1 億 814 万 4,712 円減の 39 億 2,056 万 9,007 円となった。

「経常費用」は、前年度比 4,145 万 978 円増の 42 億 5,440 万 3,238 円となった。

「当期経常増減額」は、特定資産評価損益等の調整を行った結果、3 億 5,258 万 9,031 円の費用超過となった。

このほか、「経常外増減の部」の「経常外収益」、「経常外費用」、法人税等の各種税金及び「指定正味財産増減の部」における増減額を加算した結果、「正味財産期末残高」は、前年度比 3 億 5,268 万 3,619 円減の 118 億 6,647 万 4,876 円となった。

物価高騰等の影響があるなかで経常費用の増加は最小限に抑えたものの、経常収益が減少したこと、特に受取登録料収入が令和6年度と比較して2億円程度減少したことが費用超過の主な要因と考えている。

厳しい財務状況ではあるが、既に各種収益増加に向けて取り組みを進めているところであり、当協会に設置した経営判断チーム会議による事業評価と連動した全体予算の管理・執行、効果的・効率的な事業実施によるコスト削減により、引き続き財務の改善に向け取り組んでいく。

その他財務諸表について説明後、藤田監事から、当協会の令和7年度事業報告及び計算書類等について監査したところ、全て適正であることを認め、そのほか特に指摘すべき事項はない旨、監査結果の報告がなされた。

以上、令和7年度事業報告及び決算案について諮り、原案どおり出席評議員全員一致で可決された。

(谷藤評議員)

「エンジョイ！スポーツフェスティバル」について、令和7年度は5競技が実施されているが、今後、該当競技以外を新たに実施していく予定はあるか。あわせて、スポーツ少年団には「エンジョイ！スポーツフェスティバル」で実施していない競技の登録団員も存在するが、他競技への還元についてどのように考えているか。

(森岡専務理事)

現時点において他の競技の大会を増やす予定は無い。

他競技への還元も現時点において具体的に検討している事項はない。ただし、スポーツ少年団においてその必要性が生じた場合に、今後検討を進めていく。

第4号 評議員候補者の推薦について

(岩田常務理事)

当協会の評議員は、定款第17条により評議員選定委員会で選任することとなっている。また評議員及び役員選任規則第2条第1号の通り加盟団体を母体とする評議員候補者は、評議員会での決議により、評議員選定委員会へ推薦することとしている。

この度、所属団体における役員の任期満了等により、当協会評議員辞任の届け出があり、その後任として14名の推薦があった。以下の14名を評議員選定委員会に対し推薦することについて諮り、原案通り出席評議員全員一致で可決された。

【辞任等に伴う推薦】

団体名	評議員候補者	
公益財団法人全日本軟式野球連盟	会長	堺 充廣
公益財団法人日本自転車競技連盟	常務理事	三宅 秀一郎
公益財団法人全日本弓道連盟	会長	永谷 喜一郎
公益社団法人日本パタンク・ブール連盟	副会長	園田 義宣

一般社団法人日本拳法競技連盟	会長	川原 元則
公益財団法人宮城県スポーツ協会	事務局長	中村 伸彦
公益財団法人富山県スポーツ協会	専務理事	新保 暢
公益財団法人福井県スポーツ協会	専務理事	横山 幹夫
公益財団法人静岡県スポーツ協会	常務理事兼事務局長	花崎 武彦
公益財団法人滋賀県スポーツ協会	副会長	藤堂 寛
公益財団法人兵庫県スポーツ協会	専務理事	東 直也
公益財団法人愛媛県スポーツ協会	専務理事・事務局長	高岡 晃仁
公益財団法人宮崎県スポーツ協会	専務理事	若林 繁幸
公益財団法人日本中学校体育連盟	専務理事	新宮領 毅

※任期:評議員選定委員会での選任日～令和9年度定時評議員会終結の時まで

第5号 定款第30条第1項第2号に係る役員の解任について (岩田常務理事)

当協会の定款第30条では役員の解任について規定しており、第1項の各号に該当する場合は、評議員会の決議によって、当該役員を解任することができると定めている。

この度、桐木陽子理事の選出母体である愛媛県スポーツ協会から文書により、同理事が病氣療養中であり、当面の間、JSPO 理事として職務を遂行することが困難な状況であること、また、辞退届の提出が困難な病状であることに鑑み、定款第30条第1項第2号に基づき、JSPO 理事解任はやむを得ないと考える旨の申し出があった。

理事としての業務執行および会議への出席が長期にわたり困難であり、法人運営上の意思決定体制を確保する観点から、本件への対応が必要であると考えている。

なお、定款第30条第2項において、「前項について評議員会において決議する前に、その役員に弁明の機会を与えなければならない」と定めているが、本人は意思表示が困難な状態であることから、愛媛県スポーツ協会を通じてご家族に対し本件の説明を行い、その意向を確認した結果、弁明を辞退する旨の回答を得ている。

以上を踏まえ、同理事の解任について諮り、出席評議員全員一致で可決した。

(茂野評議員)

退任ではなく解任となるのか。退任も可能であるのか。

(岩田常務理事)

退任の意思表示が困難であることを踏まえ、定款の定めにより、やむを得ず解任という対応を取る。

第6号 当協会への加盟について (岩田常務理事)

一般社団法人日本パデル協会、一般社団法人全日本囲碁連合、一般財団法人ピックルボール日本連盟から当協会加盟団体となるための要件を満たしたとして、加盟申請書が提出された。

については、一般社団法人日本パデル協会、一般社団法人全日本囲碁連合、一般財団法人ピックルボール日本連盟を当協会承認団体とする旨を諮り、原案どおり出席評議員全員一致で可決

された。

第 7 号 加盟区分の変更について

(岩田常務理事)

一般財団法人日本ジャンプロープ連合は、令和 4 年 6 月 24 日に当協会の承認団体として加盟しており、承認団体としての加盟有効期間は令和 9 年 3 月 31 日となるが、この度、準加盟団体としての要件をすべて満たしたことから、準加盟団体への区分変更に関する申請があった。

については、一般財団法人日本ジャンプロープ連合を当協会準加盟団体に区分変更する旨を諮り、原案どおり出席評議員全員一致で可決された。

報告事項

(1) 国民スポーツ大会(第 86 回大会～第 89 回大会)実施競技について (山本常務理事)

国民スポーツ大会第 5 期実施競技について、次のとおり報告された。

国民スポーツ大会で実施する競技は、国民スポーツ大会開催基準要項に基づき 4 年毎に見直すこととしている。対象大会は、令和14年から令和17年に開催予定の第86回大会から第89回大会の4大会であり、実施競技数の上限は、正式競技 40 競技以内、公開競技 10 競技以内としている。

選定経緯については、令和 6 年 11 月から中央競技団体への書面調査及びヒアリング調査を実施し、ワーキンググループにおいて選定案を作成した。その後、令和 8 年 3 月及び 4 月に開催した国民スポーツ大会委員会及び理事会において実施競技について審議した。

また、「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」の提言を踏まえ、2036 年からのいわゆる 3 巡目を待たずに改革を前倒して実施する観点から、「改革先行大会」の開催について審議した。

改革先行大会については、将来の大会改革につなげる観点から開催することとし、祝祭性のある大会の実現を基本方針とした。競技は、オリンピック等の国際大会で活躍しているフェンシング及び若者に人気のブレイキン、幅広い世代に人気の社交ダンスを実施するダンススポーツの 2 競技とし、魅力ある持続可能な大会かつ文化との融合の実現に向けた大会を目指す。

実施競技については、本大会 37 競技、冬季大会 3 競技に加え、改革先行大会の 2 競技を含め、正式競技は計 42 競技、公開競技は 9 競技とする。

改革先行大会の競技については、国スポの魅力向上、祝祭性の創出、大会の発信力強化及び若い世代の関心を喚起する観点から、フェンシング及びダンススポーツを選定した。

また、改革先行大会の具体的な取組を推進するため、国民スポーツ大会委員会の下に「国スポ改革先行大会ワーキンググループ」を設置することとした。本ワーキンググループは、既存の「国スポ改革タスクフォース」と連携しながら検討を進める。設置期間は令和 8 年 6 月 2 日から令和 11 年までとする。

本ワーキンググループは、祝祭性があり魅力的かつ持続可能な大会の実現を目的とし、関係者間の認識共有を図りながら必要な検討を行う。メンバーについては競技団体関係者、国スポ改革タスクフォース委員、スポーツホスピタリティ及びイベント分野の関係者の参画を予定している。なお、具体的な人選については国民スポーツ大会委員会にて調整中であり、最終的には会長と

国民スポーツ大会委員会委員長に一任されている。

改革先行大会は、将来の新たな国スポの具体像を示す重要な取組であり、関係者と連携しながら着実に準備を進めていく。

(2) 国スポ改革タスクフォースについて

(山本常務理事)

国民スポーツ大会改革については、令和7年3月に「今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議」からの提言を受け、その実現に向け国スポ改革タスクフォースを設置し、検討を進めている。

これまでに計4回の会議を開催し、直近では5月29日に第4回会議を実施した。

各会議では、有識者会議の提言に基づき、「大会の特徴」や「競技会等の形式」を中心に議論を行ってきた。現在は、8月頃の中間まとめ公表に向けて検討を進めている。

改革案については、大会理念である「トップアスリートと地域スポーツの好循環 ～人と地域の未来を創る～」の実現を目指し、開催都道府県の負担軽減を図るとともに、地域や参加者にとって魅力ある大会や文化との融合が実現する大会となるよう取りまとめている。

なお、中間まとめ公表後は、開催都道府県の経費や事務負担の軽減に関する具体的な改革案について検討を深め、令和9年6月までに取りまとめる予定である。

その他

・令和9年度会議日程について

(岩田常務理事)

当協会の令和9年度の会議日程について報告した。

以上の諸報告をいずれも了承後、15時00分閉会。

本議事録の作成にかかわる職務を行った者の氏名

公益財団法人日本スポーツ協会

総務部総務課 課長 小堀 克也

総務部総務課 主事 池原 瞭奈

総務部総務課 主事 永野 天空